

00298

鳥取縣公報

昭和十六年五月十六日
第一千二百三十三號

金曜日

本書ノ大キサハ國定規格A5列

告示

◇鳥取縣告示第四百號

價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ本縣ニ於ケル肥料ノ販賣價格左ノ通指定ス

昭和十六年五月十六日

鳥取縣知事

八

田

三

郎

品名等級單位

備

考

卸賣價格 小賣價格

日章印 セタンダスト

荷印綠 一等品

二五 疋

土砂其ノ他ノ爽雜物二五%未滿ニシテ

三、二九 三、四六

大阪府產 家鴨糞

荷印綠 一等品

俵入 皆掛九貫

水分一五%未滿ノモノ

一、八一 一、八九

同

荷印茶 格外品

同

土砂其ノ他ノ爽雜物二五%以上ノモノ又ハ水分一五%以上ノモノ及變質甚ダシキモノ

一、六五 一、七五

一 本表價格ハ縣内省線及直通運帶社線各着驛ホトム渡價格トス

二 前項ト受渡場所ヲ異ニスル場合及小口輸送ヲ爲シタル場合ハ運賃其ノ他ノ實費ヲ加算スルコトヲ得但シ倉庫保管料及入出庫料二五疋ニ付七錢ヲ超エザルモノトス

三 本表價格ハ農林大臣ニ於テ指定爲シタル場合ハ之ヲ適用セザルモノトス

鳥取縣告示第四百一號

價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ本縣ニ於ケル文化飯櫃ノ販賣價格左ノ通指定ス
昭和十五年十一月五日鳥取縣告示第八百五十一號ハ之ヲ廢止ス
昭和十六年五月十六日

鳥取縣知事 入田 三郎

| 番號 | 材質 | 口徑 | 規 | 高 | 側厚 | 單位 | 製造業者 販賣價格 | 卸賣業者 販賣價格 | 小賣業者 販賣價格 |
|----|-----|------|------|------|----|-------|--------------|--------------|--------------|
| 一號 | 杉白肌 | 一尺四分 | 八寸五分 | 四分五厘 | 一箇 | 六、六〇〇 | 七、二六〇 | 八、七〇〇 | |
| 二號 | 同 | 九寸一分 | 七寸五分 | 四分 | 同 | 五、三〇〇 | 五、八三〇 | 七、〇〇〇 | |
| 三號 | 同 | 七寸九分 | 六寸五分 | 三分五厘 | 同 | 四、二五〇 | 四、六七〇 | 五、六〇〇 | |
| 四號 | 同 | 六寸八分 | 五寸五分 | 三分 | 同 | 三、三五〇 | 三、六八〇 | 四、四〇〇 | |

本表價格ハ賣主店先渡價格ニシテ荷造費及運賃ハ買主ノ負擔トス

鳥取縣告示第四百二號

價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ本縣ニ於ケル荒物類ノ販賣價格左ノ通指定ス

昭和十六年五月十六日

鳥取縣知事 入田 三郎

| 品名 | 銘 | 柄 | 規 | 格 | 單位 | 卸賣價格 | 小賣價格 |
|-------|-------|-----|------|---|----|------|------|
| 竹果物盛籠 | ボート並型 | 三入子 | 一尺三寸 | | 一組 | 一、九六 | 二、三五 |

| | | | | | | | |
|-----|-------|---------|--------------|--|----|------|------|
| 同 | 同 | 同 | 一尺六寸 | | 同 | 二、六八 | 三、二二 |
| 同 | 同 | 舟型組淵片矢入 | 一尺八寸 | | 同 | 三、二四 | 三、八八 |
| 同 | 同 | 同 | 一尺八寸 | | 同 | 四、五九 | 五、五〇 |
| 果物籠 | | ヨボシ手付 | 大底 一尺深五寸五分以上 | | 同 | 、三二 | 、三八 |
| | | | 中底 九寸深五寸五分以上 | | 同 | 、三九 | 、四六 |
| | | | 小底 八寸深四寸五分以上 | | 同 | 、四四 | 、五一 |
| 柳籠 | | 柳エボシ籠 | 長 一尺一寸 | | 一個 | 二、四五 | 二、九四 |
| 角籠 | | 關大親竹 | 長 二尺一寸 | | 同 | 二、二七 | 二、七二 |
| 同 | | 同 | 長 一尺八寸 | | 同 | 二、二〇 | 二、六四 |
| 同 | | 皮中親竹 | 長 一尺八寸 | | 同 | 一、八八 | 二、二五 |
| 同 | | 同 | 長 一尺六寸 | | 同 | 一、七五 | 二、一〇 |
| 同 | | 皮小親竹 | 長 一尺六寸 | | 同 | 一、七五 | 二、一〇 |
| 同 | | 同 | 長 一尺六寸 | | 同 | 一、七五 | 二、一〇 |
| 層籠 | | 身皮大組 | 七寸角 | | 一組 | 一、四九 | 一、七八 |
| | | 同 | 六寸角 | | 同 | 一、四九 | 一、七八 |
| | | 同 | 五寸角 | | 同 | 一、四九 | 一、七八 |
| 同 | (菱木編) | 青竹大組 | 同 | | 同 | 一、六八 | 二、〇一 |
| 同 | | 白竹大組 | 同 | | 同 | 二、〇八 | 二、四九 |
| 同 | | 別上三入子 | 同 | | 同 | 、九三 | 一、一一 |
| 炭取 | | 色付モロメア | 深 八寸三分以上 | | 一個 | 、八二 | 、九八 |
| | | 同 | 深 三寸五分以上 | | 同 | 、八二 | 、九八 |
| 同 | | 色付鐵鑄型 | 深 七寸五分以上 | | 同 | 、六二 | 、七四 |
| | | 同 | 深 二寸五分以上 | | 同 | 、六二 | 、七四 |
| 籐皿籠 | | 一本立 | 徑 一尺八寸 | | 一荷 | 一、六六 | 二、〇〇 |

00301

| | | | | | | |
|---|---|---|--------|---|------|------|
| 同 | 同 | 中 | 徑 一尺七寸 | 同 | 一、六〇 | 一、九二 |
| 同 | 並 | 大 | 徑 一尺八寸 | 同 | 一、四三 | 一、七一 |
| 同 | 同 | 中 | 徑 一尺七寸 | 同 | 一、三七 | 一、六四 |

一 本表價格ハ大阪府及兵庫縣產ノモノノ價格トス
 二 卸賣價格ハ買主店先渡價格トス
 三 本表價格中籐籠ハ古籐材ヲ主材料トシテ製造シタルモノノ價格トス

◇鳥取縣告示第四百三號

府縣道狩原瀬線中左ノ通其ノ道路ノ區域ヲ變更シ變更道路ハ改築シタル道路ノ區域ヲ變更シ變更道路ハ改築シタル道路ノ地域ヲ以テ其ノ區域ト定メ昭和十六年五月一日ヨリ供用ヲ開始ス但シ不用ニ歸シタル道路及其ノ附屬物ハ同日ヨリ供用ヲ廢止ス

昭和十六年五月十六日

鳥取縣知事 八 田 三 郎

現 在 道 路

八頭郡佐治村大字葛谷字村ノ下モ三十二番地ヨリ
 同村大字葛谷字瀬谷九番地ニ至ル

變 更 道 路

八頭郡佐治村葛谷村ノ下モ三十二番地先ヨリ
 同村大字葛谷字瀬谷九番地先ニ至ル

◇鳥取縣告示第四百四號

府縣道三本杉入橋停車場線ヲ昭和十六年五月一日ヨリ府縣道三本杉東入橋停車場線ト改ム

昭和十六年五月十六日

鳥取縣知事 八 田 三 郎

00302

◇鳥取縣告示第四百五號

鳥取財務出張所管内ニ於テ縣稅檢査章ヲ左ノ通返納並ニ交付セリ

昭和十六年五月十六日

| | | | | |
|-------|----|-----------|-----------|------|
| 鳥取縣知事 | 八 | 田 | 三 | 郎 |
| 區分 | 番號 | 年 月 日 | 所 屬 廳 名 | 職 名 |
| 返納 | 八一 | 昭和十六年五月六日 | 氣高郡小鷲河村役場 | 元書記 |
| 交付 | 八一 | 同 | 同 | 書記 |
| | | | | 岡田 豊 |

◇鳥取縣告示第四百六號

米穀現在高調査員左ノ通異動アリタリ

昭和十六年五月十六日

| | | | | |
|-------|------|---------|-----------|-----------|
| 鳥取縣知事 | 八 | 田 | 三 | 郎 |
| 囑託者 | 解囑者 | 擔當調査區域 | 職務執行ノ場所 | 囑託解囑年月日 |
| 向田 善正 | 古德 智 | 西伯郡渡村 | 西伯郡渡村役場 | 昭和十六年五月一日 |
| 板 榮治 | 乾 廣善 | 西伯郡東長田村 | 西伯郡東長田村役場 | 同 |

◇鳥取縣告示第四百七號

昭和十四年十二月十九日鳥取縣告示第七百八十二號農地處分調整規則第二條ノ規定ニ基ク農地處分ノ通知ヲ要スベキ區域中左ノ通追加ス

昭和十六年五月十六日

00303

鳥取縣知事 八 田 三 郎

岩美郡 米里村 津ノ井村 面影村 成器村 大茅村 蒲生村
 岩井町 小田村 本庄村 東村 浦富町 大岩村
 入頭郡 賀茂村 國中村 八上村 散岐村 大御門村 隼村 安
 部村 八東村 若櫻町 池田村 上私都村 中私都村
 下私都村 用瀬町 佐治村 社村 山郷村
 氣高郡 神戸村 大和村 東郷村 明治村 豊實村 松保村 湖
 山村 吉岡村 大郷村 末恒村 酒津村 瑞穂村 鹿野
 町 勝谷村 逢坂村 小鷲河村 正條村 日置谷村 日
 野郡 二部村 黒坂町 大宮村 山上村 多里村 日野上村
 置村 中郷村 勝部村 福榮村 石見村 日野村 根雨町 神奈川村 江尾村
 東伯郡 宇野村 泊村 舍人村 小鹿村 三徳村 三朝村 旭村 米澤村 溝口町 日光村 八郷村

◇鳥取縣告示第四百八號

小作料統制令第十條ノ規定ニ依ル證票ヲ地方小作官松島淳鳥取縣小作官補各務武雄ニ交付シタリ

昭和十六年五月十六日

鳥取縣知事

八

田

三

郎

◇鳥取縣告示第四百九號

當管内ニ於ケル健康保險醫左ノ通指定セリ

昭和十六年五月十六日

鳥取縣知事

八

田

三

郎

專門科名 診療所々在 地

氏 名

指定年月日

内科小兒科 西伯郡御來屋町七七號

小 谷 廣 義

昭和十六年五月十二日

00304

彙

報

中、小、青年學校、各團體に

◇甘藷増産報國農場◇

生産日標六十萬貫

(農 務 課)

戰時下代用食糧又は酒精原料として甘藷の需要は近時頗る増加し、之が増産を圖ることは刻下喫緊の急務であつて、従つて本縣では既に本報に記した如く「甘藷苗の管理と植付」並に「病害虫の防除」等に付て指導を行ふと共に、「甘藷増産競技會」を計畫する等極力之が増産奨励に努めてゐるが、右の趣旨に基いて本年は甘藷増産の一翼として縣下中、小、青年學校並に各種團體に「甘藷増産報國農場」を設置せしめ、學校は六十五町歩の報國農場より二十萬貫、團體は同じく百五十五町歩より四十萬貫、計六十萬貫を目標に生産せしめることとなつた。

△中等學校

| 學 校 名 | 生徒數 | 反別 |
|----------|-------|----|
| 師範學校 | 三三〇人 | 二反 |
| 鳥取第一中學校 | 九八四 | 七 |
| 同第二中學校 | 五六三 | 四 |
| 同商業學校 | 四九三 | 四 |
| 同工業學校 | 二〇八 | 二 |
| 同高等女學校 | 八五〇 | 三 |
| 同市立高等女學校 | 七三一 | 三 |
| 同家政高等女學校 | 六一五 | 二 |
| 女子師範學校 | 二三四 | 一 |
| 入頭高等女學校 | 二〇〇 | 一 |
| 倉吉中學校 | 七五五 | 五 |
| 同農學校 | 三一七 | 三 |
| 同商業學校 | 二五六 | 二 |
| 育英中學校 | 六三五 | 四 |
| 倉吉高等女學校 | 六五七 | 二 |
| 養良農學校 | 二九七 | 二 |
| 同實科女學校 | 二〇一 | 一 |
| 米子中學校 | 一、〇〇一 | 七 |

00305

| | | | | | | |
|-----------|--------|-------|----------|-----|---------|------|
| 同工業學校 | 四三〇 | 三 | 西伯郡 | 青小 | 一五、四六一 | 五二 |
| 同商蠶學校 | 四七〇 | 三 | 日野郡 | 青小 | 一七、〇七一 | 三〇 |
| 同高等女學校 | 八二二 | 三 | 計 | 青小 | 二八六、六四九 | 三四八 |
| 同市立淑徳女學校 | 四二二 | 二 | △私立青年學校 | | | |
| 日野農林學校 | 二二三 | 二 | 米子精華青年學校 | | 三二五 | 一 |
| 根雨高等女學校 | 二〇九 | 一 | 高徳女子 | | 四八〇 | 二 |
| 境中學校 | 一六一 | 一 | 鳥取郡是 | | 七二二 | 三 |
| 同家政女學校 | 一六九 | 一 | 倉吉 | | 三五九 | 一 |
| 青年學校教員養成所 | 四二 | 一 | 湖山汗愛 | | 三二五 | 一 |
| 計 | 一三、二六四 | 七二 | 日本 | | 二八六 | 一 |
| △小學校、青年學校 | | | 西伯 | | 九一 | 一 |
| 鳥取市 | 青小 | 七、四四二 | 弓濱 | | 六一 | 一 |
| 米子市 | 青小 | 七、五四四 | 福紡倉吉 | | 一九六 | 一 |
| 岩美郡 | 青小 | 六、六八六 | 計 | | 二、八四三 | 一二 |
| 八頭郡 | 青小 | 一、〇二八 | △各種團體 | | | |
| 氣高郡 | 青小 | 九、三〇八 | 市郡別 | | | |
| 東伯郡 | 青小 | 四、五三〇 | 農事實行組合 | | | |
| | | | 鳥取市 | 五八反 | 一反 | 一反 |
| | | | 米子市 | 五八 | 二二 | 一九八〇 |
| | | | | | | 一七九 |

00306

| | | | | | | |
|-----|----------|-------|----|----|----|-------|
| 岩美郡 | 一〇七 | 二一 | 四 | 七 | 一 | 一七九 |
| 八頭郡 | 一七〇 | 一 | 七 | 一 | 一 | 一七八 |
| 氣高郡 | 二二五 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二二五 |
| 東伯郡 | 一七六 | 五九 | 一三 | 五一 | 一 | 二九九 |
| 西伯郡 | 一五五 | 三二 | 二一 | 〇 | 一 | 一九九 |
| 日野郡 | 二五六 | 五 | 一 | 一 | 一 | 二六三 |
| 計 | 一、二〇五 | 一三九 | 二七 | 八九 | 八〇 | 一、五五〇 |
| △總計 | | | | | | |
| 種別 | 人員 | 反別 | | | | |
| 學校 | 一三三、五一六八 | 六五、二反 | | | | |
| 團體 | 不詳 | 一五五、〇 | | | | |

依吉密、成吉思汗へ
滿洲建設勤勞奉仕隊
三班に分れて渡滿

(社會教育課)

趣旨

滿洲建設勤勞奉仕隊は一昨年來實施されてゐるのであるが、現下の時局情勢から考へてその効果は著し

いのである。即ち大東亜共榮圏結成の基礎條件として滿洲國に於ける開拓政策を促進徹底せしめる上に於て、日滿を通ずる食糧飼料の増産を實現する上に於て、又農耕開墾並に開拓建設及び技術的特務作業に奉仕せしめ、その實踐を通じて青年の訓練及び大陸への認識を深めることによつて、日本青年の報國精神を昂揚し且つ青年の訓練と勤勞との一體の實を揚げる上に於て、其の成果はまことに非常なる意義を有するものといはなければならぬ。

依つて本縣では本年も次の如き要綱によつて、その鳥取隊を編成派遣することになり、そのうち開拓團班の先遣隊は過日出發し、本隊は五月二十二日鳥取驛發内原に向ふことになつてゐるが、尙ほ特設農場班、女子青年隊等の送出もあるもので其の概要を記すことにする。

種別 本年派遣する滿洲建設勤勞奉仕隊は青年隊と女子青年隊とであるが、青年隊は特設農場班と開拓團班との二つに分れてゐて、開拓團班は在滿の開拓團に配屬し、特設農場班は同じく特設農場に配屬して勤勞奉仕作業に當り、女子青年隊は青年義勇隊訓練所及び開拓團班に於て勤勞奉仕作業に當るものであつて、その奉仕期間及び員數は次の如くである。

00307

| 種別 | 期間 | 隊員 | 指導員 | 醫療班 |
|-------|-------------------------------|---------------------|-------------|-----|
| 開拓團班 | 自 五月下旬 至 八月下旬 (約七十五日間) | 三八人 (内ラツ 六手二) | 小隊長一 隊付二 | 醫師一 |
| 特設農場班 | 自 八月下旬 至 十一月下旬 (約七十五日間) | 九四人 (内ラツ 六手四) | 小隊長二 隊付二 | 醫師一 |
| 女子青年隊 | 自 七月中旬 至 八月中旬 (約四〇日間) | 二人 | | |

奉仕 場所
奉仕の場所は開拓團班は北安省豊城縣依吉密開拓團特設農場班は水田特別農場班として興安東省布特哈旗成吉思汗であつて、開拓團班に於ては先遣隊として指導員一名隊員三名が約一週間前に出發し、本隊の入團に必要な準備をなして指導者の準備訓練所入所期日と同じに入所し、水田特設農場班は同じく指導員一名隊員四名の先遣隊によつて本隊の入團に必要な準備をする。

經費
奉仕隊在滿の中指導統轄は滿洲側の實踐本部が當り指導者は實踐本部の囑託とするものであつて、指導者及び隊員の支度料は、指導者一人約五十圓、隊員一人約三十五圓、旅費は指導者分縣廳所在地より茨城に至る一人約二十二圓、隊員分一人約九圓、その他準備訓練中の經費汽車汽船による渡滿旅費等いろいろ要るのであるが、これらはいづれも日本及び滿洲

國政府で負擔することになつてゐる。

隊員の選定
奉仕隊員の選定については、隊員は身体強健にして思想堅實な者であつて、滿洲建設勤勞奉仕作業に對して熱意を有する、年齢概ね十八歳以上二十五歳までの公私立青年學校生徒、青年團員、青年學校教員養成所生徒修練農場生徒その他、女子青年隊員は女子青年中堅幹部にして男子青年に準ずる範圍に於て選定し、指導者は身体強健思想堅實にして滿洲建設勤勞奉仕作業に對して熱意を有する外、隊員統率の指導能力を有する、年齢四十五歳未満の者を標準とする。

又隊醫は醫師免狀を有する者、隊醫附は醫療救護に經驗あるものであることを必要とする。
その採用手續は志願制度によるのであるが、隊員は父兄(父兄のない時は後見人又は市町村長)の連署ある願書の提出により、嚴重な健康診斷によつて呼吸器病、神経系病、心臟病、脚氣、花柳病等の既往症を檢査し、遺傳等の關係も充分調査して中途落伍等の者がなくやう嚴選し、且つ出發前に於て必ず豫防接種、チフス及びコレラ豫防注射・赤痢ワクチン服用等をなさしめ接種及び注射の證明書を携行せしめることになつてゐる。

準備訓練 採用した者については渡滿後の奉仕生活について及携行品の基礎訓練を行ふ爲に、茨城縣東茨城郡中妻

00308

村中原に在る滿蒙開拓義勇軍内原訓練所、女子は日本國民高等學校女子部に於て、指導者(醫療班を除く)は十七日間、隊員及び醫療班(隊醫、隊醫附)は十日間、女子隊員十日間の準備訓練を行ふ。

出發に當つて準備すべき服裝及び携行品は次の通りである。

- 1 團服(又は作業服)、戰鬪帽、卷ゲートル、地下足袋(又はズック靴)腹巻(金時腹巻)雨具(外套又は合羽、蓑座等)雜囊(リュックサック等)。
- 2 シャツ肌着(夏及冬のもの)寢巻、毛布、軍手、靴下、下駄。
- 3 飯盒、水筒、認印、懐中電燈、クレオソート丸、蚤取粉。
- 4 其他日用品。
- 5 小遣金(三十圓以下)
- 6 食器一揃及び腕章。

これらのものは準備訓練所から實費を以て供給されるが、食器は成るべく昨年及び一昨年の奉仕隊の持参したもの其の他を流用して持参するが便利である。

尙指導員及び隊員で兵役の關係ある者は豫め所定の手續を完了し、官公吏にして外國出張の手續を要する者もまた豫め所定の手續を完了して置かねばならぬ。

青年學校生徒の國民

体力修練會參加を

教授・訓練時數履修と認める

(學務課)

一、銃器、劍刀類、雙眼鏡、寫眞機等は持参してはならない。
公私立青年學校の生徒が國民体力法第十一條の規定に依る國民体力向上修練會に参加した場合には、青年學校では當日在籍學校に於て當該生徒の受くべき教授及び訓練科目および其の時數を履修したものとして取扱つて差支へない旨、昭和十六年三月二十日附を以て社會教育局長より通牒せられてゐるが、この際生徒の同一學年に於て教授及び訓練時數と認め得る總時數は

昭和十四年十二月二十八日發社三九二號

昭和十五年五月二日發社一五九號

社會教育局長通牒に依る集團勤勞作業

昭和十六年二月八日發社一八號

文部・農林兩次官通牒に依る食糧増産運動及びこの修練會の時數を推算して各科各學年に於ける教授訓練時數の五分の一を

超過してはならない

本年度麥作況!!

勞力、施肥の不足で六分減

(統計課)

本縣に於ける麥の作況は、四月二十日現在の調査に依ると、春期の氣候は概ね適順であつたが、播種以來冬期間に於ける氣候が平年に比し溫暖であつて降雪が少かつたため生育稍々軟弱となり多少病虫發生の傾向にある。風水害はなかつたのであるが、勞力及び施肥の不足に依つて生育不良のものがあつて、本年の作況指數は大麥、裸麥、小麥共に九四を示し、即ち六分減の狀況である。

尙ほ之を各郡市別に示せば次の如くである。

| 郡市別 | 作況指數 | | |
|-----|------|-----|----|
| | 大麥 | 裸麥 | 小麥 |
| 全管 | 九四 | 九四 | 九四 |
| 鳥取市 | 九〇 | 一〇〇 | 八〇 |
| 米子市 | 九〇 | 九九 | 八五 |
| 岩美郡 | 九九 | 九七 | 九七 |
| 八頭郡 | 九六 | 九九 | 九九 |
| 氣高郡 | 九四 | 九四 | 九二 |

| 郡市別 | 大麥 | 裸麥 | 小麥 |
|-----|----|----|----|
| 東伯郡 | 九五 | 九五 | 九四 |
| 西伯郡 | 九〇 | 九〇 | 九〇 |
| 日野郡 | 九七 | 九二 | 九四 |

(備考)
作況とは當該作物の調査期日現在に於ける生育狀況を謂ひ、作況指數は前五ヶ年間に於ける中備の作柄の年を基準一〇〇として表示す

昭和十六年五月十六日印刷
昭和十六年五月十六日發行

發行者 鳥取縣鳥取市東町
鳥取縣氣高郡大正村大字古海
印刷所 鳥取刑務支所